

令和元年度いばらきっ子郷土検定問題 解答と解説

五霞町 解答と解説

組	番	氏名	
---	---	----	--

番号	解 説	答
1	1947年(昭和22年)カスリーン台風にて洪水被害がおこりました。本年度で72年を迎えます。	4
2	源 頼朝の持つ最高の馬である生噓(いけずき)と磨墨(するすみ)のうち、佐々木高綱(ささき たかつな)は生噓を授かり、磨墨を授かった梶原景季(かじわら かげすえ)と宇治川で先陣を争いました。	1
3	五霞町は徳川幕府の初期のころから、何十回となく水の災害をうけて苦しい生活に悩み続けていたことから、食糧などの保管場所、家族の避難場所として水塚が作られていました。	3
4	菅原 道真(すがわらの みちざね)は平安時代の894年(寛平6年)に唐のおとろえや往復の航路の危険性などの理由から遣唐使停止を訴えて認められた人物です。その後、大宰府に派遣され、そこで亡くなった道真のたたりをおそれた朝廷は、道真を神としてまつり、やがて生前の功績から学問の神様として全国に知られるようになりました。	4
5	ハクレン。中国原産の淡水魚で、白波を立てて飛び跳ね、産卵期の豪快な集団大跳躍(ちょうやく)がよく知られています。	2
6	永禄年間(1558-1570年)野田 景範(のだ かげのり)が城主の時、後に北条氏により城が接収され、北条 氏照(ほうじょう うじてる)の北関東攻略の拠点となっていました。	1
7	茨城県、千葉県、埼玉県、東京都、神奈川県 <small>の5都県</small> 。圏央道(首都圏中央連絡自動車道)は全長約300キロメートルあります。	2
8	大福田(おおふくだ)村、小福田(こふくだ)村、川妻(かわつま)村、江川(えがわ)村、山王(さんのう)村、元栗橋(もとくりはし)村、小手指(こてさし)村、冬木(ふゆぎ)村、山王山(さんのうやま)村、幸主(こうしゅ)村、新幸谷(しんこうや)村の11の村が合併してできました。	2
9	古墳時代のものとされ、切先から48センチメートルほどで「く」の字に曲がった状態で出土した。このような状態で出土したのは茨城県内で初となります。	3
10	町の花はバラ、町の木はウメ、町の鳥はヒバリです。	1
11	オリンピックの聖火にあたる火を国体では炬火(きょか)といい、笠松運動公園で行われる茨城国体総合開会式で茨城国体のシンボルとして灯されます。五霞町では、総勢149名のランナーが、トーチや旗を手に北コースと南コースに分かれ、町内の各行政区を駆け抜け、約3時間かけ町役場に設置されていた炬火台を目指しました。	4
12	ごかりんは水の妖精です。五霞町を流れる江戸川などで暮らしています。頭には、町の花であるバラを身に付けています。	2
13	関宿水閘門(せきやどすいこうもん)は、利根川から江戸川に流れる水量のを調節すること、船を安全に通すことを目的に1918年(大正7年)に着工し、1927年(昭和2年)に完成しました。	3
14	サトイモの品種の1つで、ごつごつとした形が特徴です。ほっくりとした味わいがあり、道の駅の八つ頭(やつがしら)コロッケは絶品です。	2
15	昭和30年代後半から40年代にかけて、経済の発展、人口の集中から交通量の著しい増加を背景に、越谷(こしがや)市を起点として整備されました。	1
16	東昌寺(とうしょうじ)の梵鐘(ぼんしょう)は、元享年間(1321年頃)に下野国(しもつけのくに)の鑄物師(いものし)・大工甲斐権守ト部助光(だいく かいごんのかみ うらべすけみつ)が制作したものとされ、1968年(昭和43年)3月に県指定文化財に指定されました。	4
17	96名でスタートした、子ども見守りスクールガードでしたが、各地域で声をかけてくださり、少しずつオレンジベストを着た人たちの輪が広がり、2019年(令和元年)7月現在149名で活動しています。ボランティアの方々の温かい声かけや見守りのおかげで、交通事故や不審者目撃情報が減少するなど、安心安全のまちづくりにつながっています。	4
18	1986年(昭和61年)に新しい行政区として原宿台(はらじゆくたい)が発足しました。また、2年後の1988年(昭和63年)に原宿台コミュニティーセンターが、4年後の1990年(平成2年)に南児童館が開設されました。	2
19	道の駅ごかの2005年(平成17年)から2017年(平成29年)3月31日にかけての利用者数(レジ通過者のみ)の累計は、10,503,299人となり、近年は、毎年80万人を超える人たちが賑わっています。「ごかりん焼き」「八つ頭(やつがしら)コロッケ」「ローズポークまん」などが人気を集めています。	3
20	1883年(明治16年)フランス式彩色迅速測図・1885年(明治18年)五霞村全図・猿島郡郷土誌等を検証した結果、五霞の周囲には11か所の渡船場があったことが分かります。	1
21	五霞町在住の田村皓司(たむら こうじ)さんは、日本に3人しかいない琵琶製作者の一人でした。2019年(令和元年)7月にご逝去(せいきよ)されました。謹んでお悔やみ申し上げます。	4
22	2015年(平成27年)に実施された国勢調査では、昼間は夜間の約1.4倍となっています。	2
23	中の島公園のコブシの巨木は1927年(昭和2年)に植樹され、樹齢は100年以上とされています。高さ13メートル、幹周りは3.7メートルです。	3
24	町の北東部に利根川、東に江戸川、南西部に権現堂(ごんげんどう)川(現・権現堂調節池)及び中(なか)川が流れている。	4
25	五霞町は都心から50キロメートル圏域に位置し、町内5か所の工業団地では約60社の企業が活動を展開しています。	3